



2024年 8月 7日
第25号

JR東労組 
Yokohama

JR東労組横浜地本

発行人 梶田 優一

編集 情宣 担当

ホームページ

<http://www.jreu-yokohama1.jp>



原爆投下から79年の広島

1945年8月6日、米軍による原子力爆弾が広島に投下され今年で79年が過ぎました。原爆により一瞬で広島の街は破壊され多くの方が犠牲になり、被ばくによって人体の影響に今もなお苦しめられている皆さんを忘れてはなりません。

原爆投下から79年も経過しているため、実体験を直接聞ける場も僅かです。私たちJR東労組は、青年部「ヒロシマ平和研修」等を通じて、原爆がもたらす被害・恐怖と原爆投下の本当の狙い、そして、戦争の悲惨さを学んできました。実体験を聞く場がなくなったとしても、学んだ私たちが未来永劫語り継いでいかなければなりません。

岸田首相は、広島市原爆死没者慰霊式並びに平和記念式において、「79年前の広島と長崎にもたらされた惨禍、人々の苦しみは二度と繰り返してはなりません。被爆の実相を後代に伝えつつ、非核三原則を堅持して、『核兵器のない世界』の実現に向けて努力を着実に積み重ねていくことは、唯一の戦争被爆国である我が国の使命です。」と挨拶をしています。ですが、実際はどうでしょうか。2017年7月に国連で採択された「核兵器禁止条約」に、日本は未だに批准していません。7年たっても核兵器禁止条約に言及しない日本政府の消極的姿勢は変わっていません。

政府の姿勢を変えていけるのは、私たち一人ひとりの行動の積み重ねでしかありません。核兵器では何も解決しません。テロにも戦争にも反対、被害者にも加害者にもならないため、日本が世界に誇る「憲法9条（戦争の放棄）」の重みを受け止めて行動していきましょう！



**原爆の悲惨さ、恐ろしさを学んだ私たちが
平和であり続けるために何が出来るか考えよう！**